

# 1 単元名 国際社会と世界平和

「国際社会と世界平和」(全7時間)

各務原市立蘇原中学校 中塚 誠  
美濃市立美濃北中学校 花村 英泰

## 2 単元のねらい

世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解するとともに、そのために自分ができることを国際社会において行うことが、世界平和につながることを理解できる。  
地域紛争の平和的解決のために国際連合の果たしている役割について関心を持ち、国連の具体的な活動について資料をもとに調べるとともに、世界平和に貢献する国連になるための課題について考えることができる。  
国際平和に対する我が国の貢献の仕方について様々な角度から追究することができる。

## 3 単元で培いたい学び方

世界平和と人類の福祉に関する社会的事象に対する関心を高め、地球市民としての自分のできることを国際社会において行う姿勢や、共生社会を築くために自分のできることを身の回りで実践していく姿勢が、世界平和や人類の福祉を作り上げていくことにつながっていくことを理解する学び方。

## 4 内容のまとめりとごとの評価規準 公民的分野の内容(3)ウ「世界平和と人類の福祉の増大」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
世界平和の実現と人類の福祉の増大にかかわる国際社会の諸問題に対する関心を高め、国連を通じた国際協力の重要性と課題、日本の役割について考えようとしている。	国際社会の諸問題から、世界平和に関する課題を見だし、世界平和実現のための課題解決の方策を多面的・多角的に考察するとともに、自らの問題として追究している。	国際社会と平和に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、課題を追究するために役立つ情報を適切に選択して活用している。	地域紛争や民族問題の解決のために国際連合が果たしている役割について理解するとともに、国際社会において、国家間の相互の協力や各国民の相互理解と協力が、世界平和の実現と人類の福祉の増大にとって重要であることを理解している。

## 5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	地域紛争の現状とその原因から世界平和に対する関心を高め、世界平和実現に向けて現在や将来の中で自分ができることは何かについて追究し、実践しようとする意欲をもとうとしている。	より一層世界平和に貢献できる国連となるための課題について多面的、多角的に考察している。 自分ができることで国際社会に貢献していくことが他国の人との相互理解を生み出し、世界平和につながっていくことに気づくとともに、今の自分にできることは何かについて、既習内容をふまえて考察している。	地域紛争のようすを年代別地域別に整理分類して、特徴や発生の原因を読みとったり、新聞資料、統計資料、写真資料から日本の貢献の方法を読みとったりして、自分の考えをまとめ、表現している。	世界平和の実現と人類の福祉の増大にとって欠かせない主権の尊重や国際社会の遵守、国際連合の目的と組織、働き、人的支援について、具体的事例をもとに理解している。
学習活動における具体的評価規準	地域紛争の原因について知り、世界平和に向けてどうすることが必要なのか追究意欲をもとうとしている。 【第1時 ノートの記述】 世界平和を築くために、今の自分にできることは何かについて関心を高めている。 【第7時 感想の記述】	国連の課題について資料から読みとり、仲間との交流を通して、課題について自分の考えを深めている。 【第4時 発言内容】 世界平和をめざす日本のようすについて発表し、国際平和の意義について考えようとしている。 【第6時 ノートの記述】	国際連合の目的と組織、役割について資料を作成しそこから読みとっている。 【第3時 ノートの記述】 資料を活用しながら、様々な日本の貢献の方法を見つけ、発言している。 【第5時 ノートの記述】	主権の定義や国際社会で守るべきルールについて理解している。 【第2時 感想の記述】

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
1	戦後の地域紛争・戦争を年代別地域別に整理分類することや地域紛争についての感想を交流することを通して、世界各地では、民族や宗教のちがいなどから争いが絶えないことを知るとともに、世界平和を築くために、どうすることが必要なのか追究する意欲をもつことができる。	<p>1 教科書を見て、戦後の地域紛争を年代別、地域別に分類するとともに、それぞれについて知っていること気づいたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジアやアフリカに多い。</li> <li>・紛争が増加している。</li> <li>・どうして争いが増えているのだろうか。</li> <li>・国連が出動して紛争を解決している。</li> <li>・民族間の争いが紛争の原因になっているようだ。</li> </ul> <p>2 資料から紛争の原因について考え、思いを交流することを通して、単元の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる民族や文化、宗教に対する偏見が原因になっている。でも、人類ならきっと乗り越えることができる問題だと思う。</li> <li>・21世紀は、国連を中心にして国と国が協力することが必要だ。</li> </ul> <p>《単元を貫く課題》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>世界平和を築くには、どうすればいいのだろうか。</p> </div> <p>3 本時のまとめをする。</p>	<p>ア - 地域紛争の原因について知り、世界平和に向けてどうすることが必要なのかという追究意欲が持っている。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」 「世界平和を築くために」自分ができるとことや方法が記述されているか、追究意欲が表れているかを分析する。</p>	<p>おもな紛争地域（教科書） バスター戦争（教科書）</p> <p>援助 ・民族、文化のちがいという問題点を明確にして、それについて「世界は」「自分は」という視点で平和についての考えをもつよう助言する。</p>
<p>世界では、民族問題を原因とする地域紛争が絶えない。世界平和を築くには、各国が国連を中心に協力し合うことが必要に思う。と同時に、一人一人がお互いのちがいを認め合えるようになることが欠かせないように思う。世界に平和に向けて、国際社会の課題や自分たちの課題をみんなで考えていきたい。</p>				
2	世界平和を築くための国際社会のルールを教科書から調べることを通して、国家間の相互の主権とその尊重、国際法の遵守が大切であることが理解できる。	<p>1 前時をもとに本時の学習課題を設定し追究する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>国同士がよりよい関係を築くには、どのようなルールが必要だろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの領土を認め合う。</li> <li>・取り決めた条約は必ず守る。</li> </ul> <p>2 教科書から、国際社会のルールについて調べる。</p> <p>《主権の尊重》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内政不干渉の原則</li> <li>・領土・領海</li> <li>・主権平等の原則</li> <li>・領空・経済水域</li> </ul> <p>《国際法を守る》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際条約</li> <li>・国際慣習</li> </ul> <p>3 教師の説明を聞き、調べた内容を確認する。</p> <p>4 本時のまとめをする</p>	<p>エ - 主権の定義や国際社会で守るべきルールについて理解している。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「感想の記述」 主権や国際法について理解しているか分析する。</p>	<p>主権国家の三要素（資料集） 国際法（資料集） 国際法が変えた私たちの生活（自作） 教科書本文</p> <p>援助 ・主権や国際法については、具体例を示して理解できるようにする。</p>
<p>共生社会を築くのに基本的人権の尊重や義務の遵守が大切だった。同じように国同士が国際社会の中で平和を維持し共生していくには、相互の主権の尊重や国際法の遵守が欠かせない。</p>				
3	国際連合のしくみやはたらきを調べることを通して、世界の国々が国際連合を組織することによって、世界の平和と安全の維持、世界の人々のくらしの向上をめざして努力していることが分かる。	<p>1 地域紛争解決に努力していた国連平和維持軍や国連について知っていること交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカやロシアには拒否権がある。</li> <li>・平和維持軍に日本も参加するようになった。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>国際連合の目的やしきみ、はたらきを調べよう。</p> </div> <p>2 教科書、資料集から国際連合の目的やしきみ、はたらきを調べノートにまとめる。</p> <p>目的：世界平和の維持 しきみ：総会、安全保障理事会、経済社会理事会 専門機関、UNHCRなど 働き：世界の平和と安全の維持 世界の人々のくらしの向上</p> <p>3 国連の貢献について具体的な説明を聞く。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>ウ - 国際連合の目的と組織、役割について資料を作成しそこから読みとっている。</p> <p>場面 「学習活動2の直後」</p> <p>方法 「ノートの記述」 課題について調べたノートの記述から、国連の目的や組織、働きについて矢印や図を使って理解しているか分析する。</p>	<p>国連のおもなしくみ（教科書） 国際連合のいろいろな活動（教科書） 教科書本文 年代別に見た平和維持活動の数（国際連合資料） アパルトヘイトに対する経済制裁とその廃止</p> <p>援助 ・国際連合の図の必要な部分を写すように示唆する。</p>
<p>世界の国々は国際連合を組織することで世界平和の維持と人類のくらしの向上をめざしていることが分かった。国連の活動がなければ、ひょっとすると世界は今よりも紛争や飢餓が激発して、多くの死者や難民を出していたのかもしれない。しかし、まだ紛争や飢餓の問題など解決すべき問題はたくさん残っている。国連の課題や、国連に求められていることがらは何だろう。日本の果たすべき役割は何だろう。</p>				

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
4 国連の課題	多くの課題に取り組める国連をつくるのに何が必要であるかを資料から考え、話し合うことを通して、国連にとって、安全保障理事会の改革や、各国による確実な資金と人の提供、地域組織との連携が重要な課題であることが分かる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>『幻だった国連の時代』(文章資料)を読み感想を交流する。 世界平和にもっと貢献できる国連となるには、何が必要だろう。</li> <li>資料を調べ、世界平和に貢献できる国連となるために何が必要か、考えを交流する。 ・予算と人を確保する。 ・分担金の滞納国がしっかり分担金を納める。 ・大国に左右されない国連を組織する ・各地域の機構や組織と協力して活動する。</li> <li>教師の説明を聞く。</li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>イ - 国連の課題について資料から読みとり、仲間との交流を通して、課題について自分の考えを深めている。</p> <p>場面 「学習活動2の最中」</p> <p>方法 「発言内容」</p> <p>資料から読みとったことや思ったことを発言しているか、課題についての発言内容の視点の多さや明確さ、思考の変化が見られるかを分析する。</p>	<p>幻だった国連の時代 (1994年『日本経済新聞』) 平和維持活動の明暗 (写真資料) 国際連合の予算と分担率 おもな国の国際連合職員数 安保理改革問題 (現代用語の基礎知識2001) 援助 ・安保理の改革、職員や予算の問題、地域組織との連携のどれかに目を向けるよう指示する。</p>
<p>今、国連では、諸問題に対応できる国連となるために安全保障理事会への改革や、地域機構や組織と連携した平和維持活動が進められているんだ。でも、世界の平和に貢献しなければいけない国連の予算がとても貧しいことには驚いた。その意味では、日本は国連にたくさんの分担金を払って国際貢献している。</p>				
5 世界平和の実現	憲法から日本が国際紛争解決の手段として、平和主義を決意していることを理解し、国際平和に対する日本の貢献の仕方として、核兵器の廃絶や軍縮の動きがとられていることが分かる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>憲法第9条を読み、内容を理解する。 ・戦争を放棄している。 ・交戦権を認めていない。</li> <li>世界平和を実現するための日本の立場を考える。 世界平和を実現するために日本は何をしたらよいのだろう。 ・軍縮などで一層努力する。 ・非核三原則を守り続ける。 ・戦争の犠牲者を守っていく。</li> <li>世界平和を実現するための日本の役割をまとめる。</li> </ol>	<p>イ - 世界平和をめざす日本のようすについて発表し、国際平和の意義について考えようとしている。</p> <p>場面 「学習活動2の直後」</p> <p>方法 「ノートの記述」</p> <p>ノートの記述から、日本が世界平和の実現のために努力していることに気づいているか分析する。</p>	<p>憲法第9条 サミット 軍縮会議 平和都市宣言</p>
<p>世界の平和を保持していくためにも、平和主義を掲げている日本は、軍縮の動きを進めたり、難民のために貢献活動ができればいいと思う。</p>				
6 日本の果たすべき役割	日本の国際貢献の成果や問題を調べ、考えることを通して、世界平和や幸福を実現するために、日本には、支援地域住民の意向に沿った、自立発展に向かう人的な面の支援が求められていることが分かる。NGOや青年海外協力隊でたくさんの日本人が世界中で活躍していることが分かる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>資料から日本の国際貢献のようすについて知り、感想を交流して課題を設定する。 世界平和や人類の幸福を実現するために、日本は何をしたらよいのだろう。</li> <li>資料をもとにこれからの日本の国際貢献の姿について話し合う。 ・支援地域の住民が一番求めている援助をしていくことだ。 ・支援地域の住民の教育をしてから施設の援助を行っていくべきだ。 ・現地のをよく見極めて支援すべきだ。 ・皮膚の色や文化も違う人たちと一緒に支援活動するという支援のスタイル(人的支援)をつくっていくことがこれからは大切なんだ。</li> <li>NGO・青年海外協力隊について説明を聞く。</li> <li>本時のまとめをする。</li> </ol>	<p>ウ - 資料を活用しながら、様々な日本の貢献の方法を見つけ、発言している。</p> <p>場面 「学習活動1の直後」</p> <p>方法 「ノートの記述」</p> <p>ノートの記述内容に世界平和実現に向けた日本の役割や貢献の方法が様々あることが書かれているか分析する。</p>	<p>日本のODAの問題点(1995年朝日新聞社) 日本のPKO(外務省資料) ぬくぬくした平和はない(明石康『国連から見た世界平和』) 青年海外協力隊とNGO(教科書) 援助 ・人的支援が地域の住民に望まれていることを示唆する。</p>
<p>日本は、現地の調査きちんと行って、そこに住んでいる人々の意向を一番に優先して援助を行う必要がある。これからは、施設の建設よりも技術の教育などその地域が自立発展できるような援助に重点を置くことが大切だ。いろいろな国の人たちと一緒に汗を流して、援助活動を行っていくというスタイルは、相互の理解や尊重の精神を生み出して、世界の平和にもつながっていくのではないかと思う。実際、こういう支援が、NGOや海外青年協力隊によって実践され、世界各地で日本人が活躍している。NGOや青年協力隊で活躍する日本人について詳しく調べてみたい。</p>				

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
7 平和を築くために自分にできること	青年海外協力隊の体験報告記を読み、感想を交流することを通して、話し合いや調査活動を行い、今自分たちができる国際貢献は何であるかが分かるとともに、それを確実にやり遂げたいという意欲をもつことができる。	<p>1 青年海外協力隊の体験報告記を読み、感想をまとめ交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の職業が世界平和や援助地域の人々のくらしの向上につながる実感ってすてきだろうな。</li> <li>海外青年協力隊の活動の目的は、やっぱり相互理解なんだ。</li> <li>私も将来この活動に参加できるよう学習に励んで自分にできることを作りたい。</li> </ul> <p>2 世界平和を気づく課題を班ごとに設定し、話し合い、考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>募金をすることだ。</li> <li>安心して暮らせる学級や家庭をつくるために、今、自分にできることを一生懸命行うことだ。</li> <li>NGOのHPを見たり、講演会に参加したりして、今自分たちにできることを探したり、NGOの活動ようすを理解したりしていくことだ。</li> <li>豊かな自分たちを知って、ものを大切に使うことだ。</li> </ul> <p>3 NGOや青年海外協力隊のHPを見て、今、自分たちができる国際貢献を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さっと捨ててしまうベルマークや書き損じはがきを集めて送る。</li> <li>少額を毎日寄付する。(インターネット寄付)</li> <li>イベントに参加する。</li> </ul> <p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>ア - 世界平和を築くために、今の自分にできることは何かについて関心を高めている。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「感想の記述」</p> <p>地球市民として、世界平和に貢献しようという意志がみられるか分析する。</p>	<p>NGO, 青年海外協力隊のHP(インターネット)</p> <p>援助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習学習で学んだ視点を振り返り、それをもとに考えていくよう指導する。</li> </ul>
		<p>家族や学校がベルマークを集めればたくさんの量が集まるはずだ。そういう働きかけや運動を家庭や学校に起こしていきたいな。</p> <p>世界平和のためにも、安心して暮らせる学級や家庭を築いていく。そのために、自分は何ができるかをよく考えて、ひとつのことを着実にやっていきたい。</p>		